

- 協会けんぽ加入者の健康増進・医療費適正化等の取組やその取組の基礎となる調査研究で得られた知見を支部間で共有し、事業の企画・改善に繋げ、広く協会関係者・加入者等に発信するため、下記のとおり調査研究フォーラムを開催しました。

【会場参加者】 173名（外部参加者67名、協会職員106名）

【オンライン再生回数】 945回 （令和8年6月18日現在）

◆第12回調査研究フォーラム プログラム

【日 時】 令和8年5月13日（水） 10時00分～16時15分

【会 場】 一橋講堂（当日ライブ配信と後日アーカイブ配信も実施）

【内 容】

1. 外部有識者を活用した委託研究（第Ⅴ・Ⅳ期）『中間報告』

- （1）国立成育医療研究センター 大久保 祐輔 室長（第Ⅴ期_1年目）
『抗菌薬適正使用促進政策の長期的効果と家族・地域社会への波及の評価』
- （2）産業医科大学 永田 昌子 准教授（第Ⅴ期_1年目）
『治療と仕事の両立支援及び健康経営の取組みに関連する指標の検討』
- （3）慶應義塾大学 伊藤 裕 特任教授（第Ⅳ期_2年目）
『協会けんぽ加入者の高額医療費集団に特徴的な疾患群に対する効率的医療費適正化を目指した多元統括的研究』
- （4）東北医科薬科大学 目時 弘仁 教授（第Ⅳ期_2年目）
『高血圧治療開始前から治療期までの血圧コントロール不良要因とその地域差の解明』



↑協会けんぽホームページ
（第12回調査研究フォーラム資料・動画掲載ページ）

第12回 協会けんぽ調査研究フォーラム開催報告

2. 支部による分析・取組事例

<口演発表>

- (1) 北海道支部 『歯科未受診者の口腔状況と健診結果等の関係の分析』
 - (2) 福井支部 『未治療者受診勧奨結果の分析』
 - (3) 京都支部 『傷病手当金を用いたメンタルヘルス復職支援体制の分析』
- (講評) 筑波大学 医学医療系 社会健康医学研究室 教授 村木 功

<ポスター発表> ※開演時間中、講堂外のフロアに掲示

- ・秋田支部 『トラックドライバーのメンタルヘルスに関する調査』
- ・京都支部 『健診後の未治療者の医療機関受診状況の実態把握』
- ・奈良支部 『睡眠習慣と健診結果の相関関係分析』
- ・和歌山支部 『運動にかかる職場の健康づくりの取組に関する効果研究』



3. 外部有識者を活用した委託研究（第Ⅲ期）『最終報告と総合討論』

- (1) 東京大学 井出 博生 客員教授
『協会けんぽにおける今後の保健事業等の基盤整備を目指した調査分析』
- (2) 秋田大学 野村 恭子 教授（当日は 久留米大学 山内 圭子 講師 が代理発表）
『就労女性の性に関連する健康と労働生産性の実証研究』
- (3) 上智大学 中村 さやか 教授
『患者・供給者の行動変容と保険者機能強化による医療サービスの効率化』
- (4) 京都大学 福間 真悟 特定教授
『保健事業による健康アウトカムを改善するための行動インサイト：因果探索の応用』

<総合討論> 「研究成果の事業活用について」

- (進行) 全国健康保険協会 理事 岡村 智教
- (コメンテーター) 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授 後藤 励